



ゼンリンデータコムの「混雑統計®」事業の IoT サービスに、BIGLOBE が参画 ～「はたらく車プロジェクト」で約 500 台の公用車・業務車両を IoT 化～

株式会社ゼンリンデータコム（所在地：東京都港区港南、代表取締役社長：清水 辰彦、以下「ゼンリンデータコム」）が展開する「混雑統計®」の IoT（Internet of Things）サービスに、ネットワークパートナーとしてビッグローブ株式会社（所在地：東京都品川区 代表取締役執行役員会長兼社長 中川 勝博、以下「BIGLOBE」）が参画します。

第一弾として、国立研究開発法人情報通信研究機構（以下「NICT」、理事長：坂内 正夫）、ソーシャル・ビッグデータ利活用・基盤技術の委託研究に採択された「はたらく車プロジェクト～公用車等の徹底活用によるビッグデータ利活用モデルの構築～」(以下、「はたらく車プロジェクト」) に於いて連携を開始しました。

「はたらく車プロジェクト」は、公共性を有し社会に貢献するビッグデータを「ソーシャル・ビッグデータ」と位置付け、その利活用を促進し、様々な社会的課題の解決、新たなサービスの創出等に寄与に取り組む NICT の研究開発プロジェクトの一環として、2014 年 6 月 19 日に「スマートシティ分野」で採択されました。

自治体の公用車、バス等の公共交通の車両、事業者の業務用車両などに、位置情報等をリアルタイムに取得するセンサーを設置。取得したソーシャル・ビッグデータを積極的に利活用するための技術・サービスを開発。道路などインフラの維持管理の効率化や自治体業務の高度化、市民サービスの向上、都市計画・交通計画などの高度化を図るなど、「ソーシャル・ビッグデータ」を効率的な都市経営の実現や地域課題の解決に活用するプロジェクトです。

公用車等からリアルタイムで取得されたデータを解析する事で、道路の路面性状（凸凹）を観測。定期的に路面の損傷状況を把握する事で、より効率的な道路管理や修繕計画の高度化が期待されています。その他、車両の走行ルート等と自治体保有データとの掛け合わせによる都市計画の高度化など、公用車ビッグデータ活用による「効率的な都市経営の実現」するデータ利活用モデルの構築と、その社会実証を行います。

2014 年より、兵庫県加古川市を始めとした複数のフィールドで研究活動を行ってきましたが、今秋より加古川市の 400 台弱、ほぼ全ての公用車にセンサーを設置し、公用車の IoT 化を図ります。また、今後、加古川市以外にもフィールドを拡大し、公用車 500 台規模での実証活動を進めて行く予定です。

本プロジェクトでは、各種センサーに BIGLOBE が提供するデータ SIM を利用するほか、小型専用端末も設置するなど、BIGLOBE が有する IoT 端末との連携も行います。

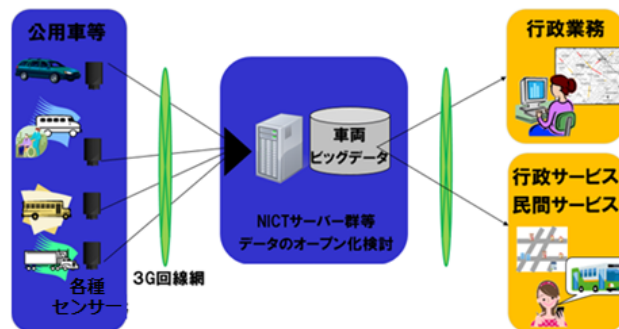
BIGLOBEはMVNO事業者として、「はたらく車プロジェクト」にモバイル通信サービス「BIGLOBE LTE・3G」を提供し、500台の公用車向けセンサーで取得したデータをリアルタイムで「混雑統計®」IoTプラットフォームに送信します。また、「IoT端末」としては、Android™を搭載した小型端末「BL-01」を提供し、センサーにより道路の舗装状況や位置情報データ取得を行います。小型IoT端末「BL-01」は、9月下旬より企業向けに開発・検証用として限定販売を開始します。

ゼンリンデータコムとBIGLOBEは、今後も、「はたらく車プロジェクト」のプラットフォームを、他の自治体や民間企業の業務用車両に広げていくよう、活動していきます。

「はたらく車プロジェクト」

概要&体制

■ 概要



■ 体制

兵庫県 加古川市 他

代表研究者	ゼンリンデータコム 足立 龍太郎	車両走行データを収集・蓄積・分析する仕組み構築 ビッグデータ利活用モデルの設計・運用
	東京大学 関本 義秀	社会基盤施設等の日常点検における 車両データの有用性評価・モデル開発
	構造計画研究所 矢部 明人	業務車両での道路保全業務に対するデータの有用性 評価・モデル開発
	日建設計総合研究所 川除 隆広	都市計画に対するデータの有用性評価、モデル開発

【スマートシティ分野】

はたらく車プロジェクト ～公用車等の徹底活用によるビッグデータ利活用 モデルの構築～	足立 龍太郎 ○株式会社ゼンリンデータコム ・ 国立大学法人東京大学 ・ 株式会社構造計画研究所 ・ 株式会社日建設計総合研究所
--	--

<http://www.nict.go.jp/press/2014/06/19-1.html>

■「混雑統計®」事業について

位置情報を分析／統計処理。「人・モノ・車の流れ」を定量的に把握し、意思決定を支援する位置情報ビッグデータ・ソリューションを展開。

『位置情報による“社会課題の解決”』をビジョンとし、独自の「社会活用モデル」により、公益領域を中心に「人・モノ・車の流れ」を可視化する「混雑統計®」データのライセンスを行い、公共でのデータ活用のパイオニアとして市場を牽引する。

現在、高精細な地図データを利用した位置情報解析プラットフォームによる「位置情報分析サービス」、各種センサーによるデータ取得、データ分析、活用システムのワンストップ提供を行うIoTサービスの3軸で、位置情報活用に特化した事業展開を行っています。

会社概要

会社名 : 株式会社ゼンリンデータコム (<http://www.zenrin-datacom.net/>)

本社 : 東京都港区港南 2-15-3 品川インターシティC 棟 6階

代表者 : 代表取締役社長 清水 辰彦

事業内容 : ネットナビ事業 通信対応ナビを含む情報端末への地図情報および付加価値情報の提供サービス

Web-GIS 事業 法人に対する地図をベースとした付加価値情報サービス

拠点案内事業 WEB上での拠点案内サービス、モバイル端末への地図サービス

会社名 : ビッグロブ株式会社 (<http://www.biglobe.ne.jp/>)

本社 : 東京都品川区東品川 4-12-4 (品川シーサイドパークタワー)

代表者 : 代表取締役執行役員会長兼社長 中川 勝博

事業内容 : インターネット等のネットワークを利用した情報サービスの提供および、これに付帯または関連する一切の業務